

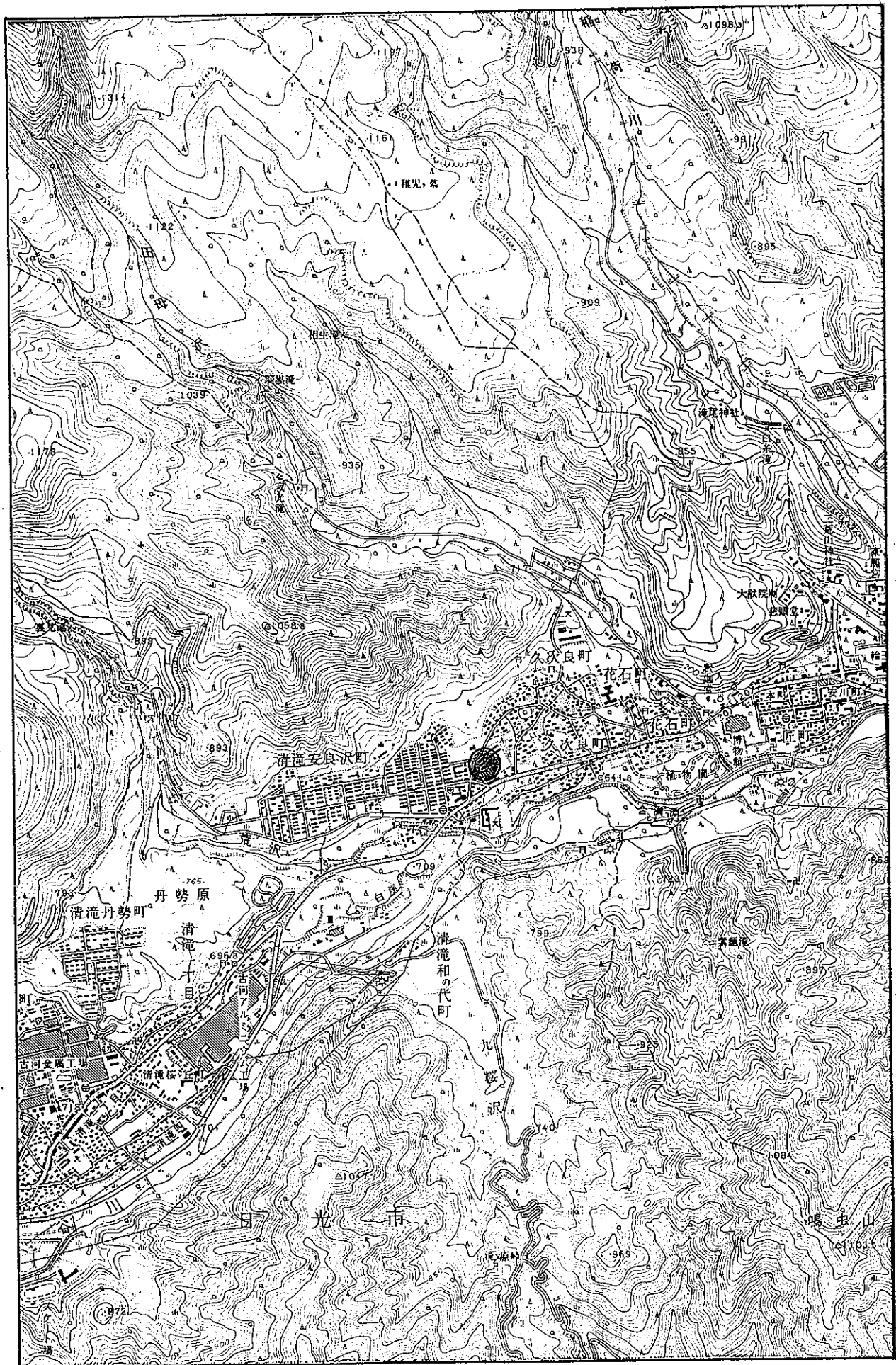
ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

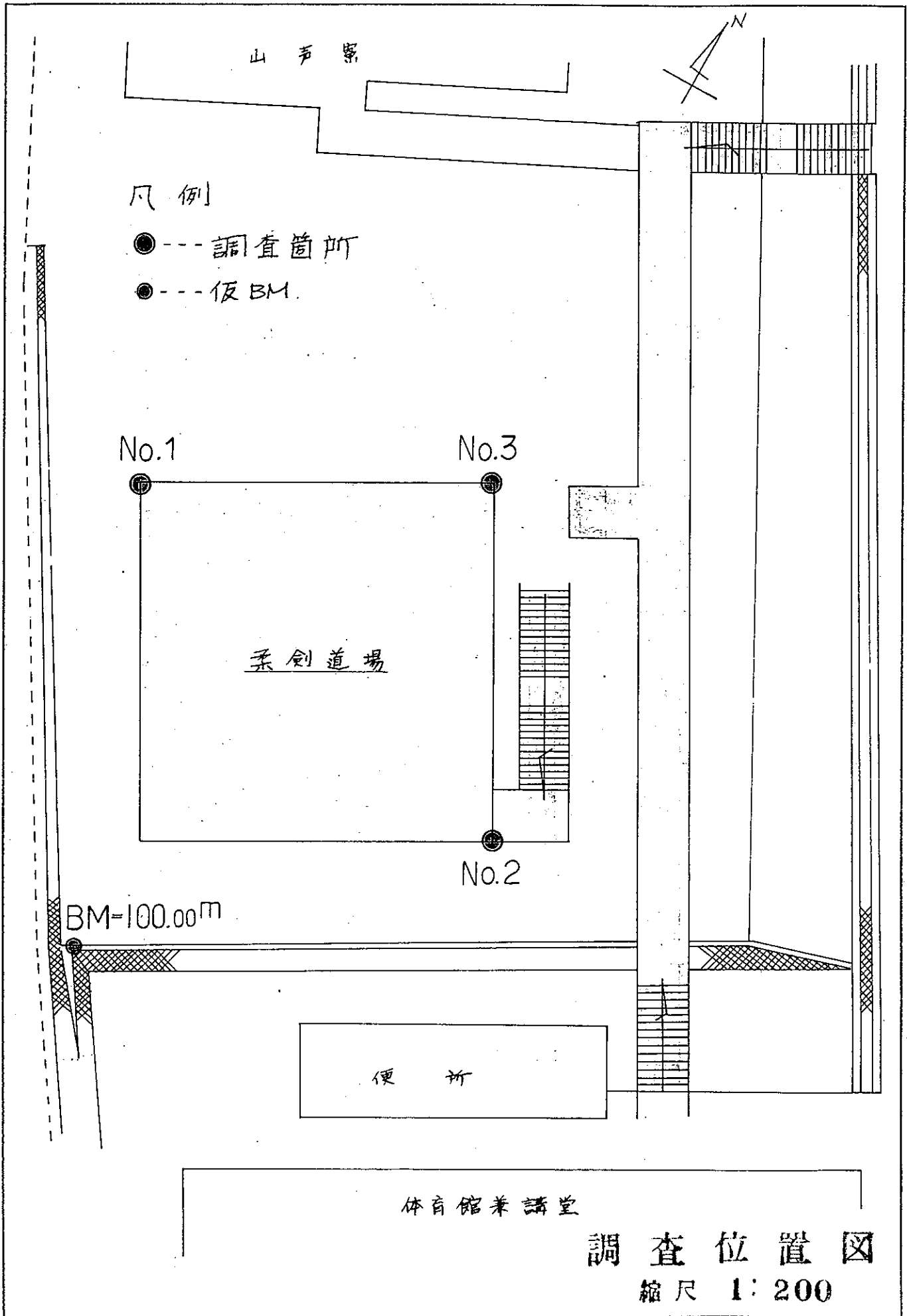
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課



1 : 25,000

案内図



ボーリング番号		No. 1		備考																	
調査名		日光高校柔剣道場新築工事に伴う地質調査																			
調査場所		日光市久次良町地先																			
調査年月日		昭和58年6月 日 ~ 昭和58年6月 日																			
標高		99.99m		基準 1反B.M (100.00m)																	
ボーリング工法		ローリー式		現場技術者																	
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	相対密度ステーションよび	標準貫入試験										標尺 (m)
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数								
											10	20	30	10	20	30	40	50			
0	99.99																			0	
1							盛土	褐	全体に火山礫を少量混入する軽石を主体とする。0.8~1.0mに火山岩の玉石混入する。	やや細かい	1.15	4	2	2						1	
2	97.99	2.00		0.80			有機質土	黒	ロームの地表風化土で有機質土である。	非常に細かい	45	2	1	1						2	
3	97.19	2.80		0.70			ローム	褐	細粒のスリッ軽石を不規則に混入する。	細かい	3.15	13	3	5	5					3	
4	96.49	3.50					軽石	黄白褐	3.5~4.0m φ1~5mmの砂粒状で黄白褐色を呈し粒子は硬い。	非常に細かい	45									4	
5	95.99	4.00		2.90			軽石	暗赤褐	4.0~6.4m φ5~20mm粒状で含水量多し細かい。	非常に細かい	47	32								5	
6											50	35								6	
7	93.59	6.40		2.10			砂質ローム	暗褐	φ1~10mmの火山礫及びスリッを不規則に混入する。含水量、粘性比に中位の土である。	細かい	6.15	3	1	2						7	
8											37	36	19	17						8	
9	91.49	8.50		0.30			細砂	暗灰	少量のシルトを混入する。	中位の	7.15	11	3	3	5					9	
10	91.19	8.80		1.00			砂質ローム	暗茶褐	スリッを少量混入する。	中位の	45	10	3	4	3					10	
11	90.19	9.80									45	8	2	2	4					11	
12											10.15	32	13	10	9					12	
13											45									13	
14							火山礫 (玉石混入)	暗灰	φmax 200mm程度の粗粒。多孔質の火山岩質火山礫と同質の火山石や砂り火山礫層物である。	密	11.15	42	11	13	18					14	
15											45									15	
16											12.15	50								16	
17											17	2								17	
18											13.15	50	25	25						18	
19											27	12	2							19	
20											14.15	16	5	6	5					20	
											45										
											15.15	50									
											18	3									
											16.15	50									
											19	4									
											17.15	50									
											20	5									
											18.15	50									
											23	8									

No. 1 孔

ボーリング番号		No. 2								備考													
調査名		日光高校柔剣道場新築工事に伴う地質調査								U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取													
調査場所		日光市久次良町地先																					
調査年月日		昭和58年6月 日 ~ 昭和58年6月 日																					
標高		99.95 ^m		基準		仮B.M (100.00 ^m)																	
ボーリング工法		ロータリー式		現場技術者																			
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色 調	記 事	相対密度およびコンシステンション	標準貫入試験					標尺 (m)							
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数										
											10	20	30	10	20	30	40	50					
0				1.60		X	盛土	褐	0~0.3mの根混り。 全体にφ10~20 ^{mm} の軽石 を主体とする火山灰。	非常に やわらかい。	1.15								0				
1	98.35	1.60		0.40			有機質土	黒	木の根混り。		45								1				
2	97.95	2.00		0.80			ローム	褐	軽石、スクリヤを不規則 に混入する。粘性中位。	中位の	2.15	7	2	3	2				2				
3	97.15	2.80		3.20		△△△	軽石	黄白褐	2.8~3.8 ^{mm} のφ1~5 ^{mm} の粒状。(本邦軽石) 粒子は丸みあり。	ゆるい	3.15	7	2	2	3				3				
4		3.80			△△△	暗赤褐		3.8~6.0 ^{mm} のφ5~20 ^{mm} の粒状。(今市軽石)	非常に やわらかい。	4.15	1									4			
5					△△△					5.15			3	1	1	1				5			
6	93.95	6.00			△△					6.15			30	15	15					6			
7				2.35			砂質ローム	暗褐	全体に砂質ロームで スクリヤ、火山礫を不規則 に混入する。	かたい	7.15	13	7	2	4				7				
8	91.60	8.35		0.65			細砂	暗灰	シルト混りの均質な細砂。	中位の	8.15	11	3	3	5				8				
9	90.95	9.00		0.80			砂質ローム	暗褐	粘性は高い。	かたい	9.15	16	4	6	6				9				
10	90.15	9.80		5.44			火山礫	暗灰	φmax 200 ^{mm} 程度の 粗粒かつ多孔質 の安山岩質火山礫 と同質の火山砂り は火山砂り骨物。	密	10.15	50	22	22	6				10				
11					38	23										11.15	50	28	19	3			11
12					38	23										12.15	50	9	11	30			12
13					43	28										13.15	38						13
14					45	38										14.15	50						14
15	84.71	15.24									20	5						15					
16											15.00	50	19	13	13				16				
17											24	24							17				
18																			18				
19																			19				
20																			20				

No. 2 孔

ボーリング番号										備考											
No. 3										U 不攪乱試料採取 D 攪乱試料採取											
調査名																					
日光高校柔剣道場新築工事に伴う地質調査																					
調査場所																					
日光市又次長町地先																					
調査年月日										昭和58年6月 日 ~ 昭和58年6月 日											
標高										99.89m											
ボーリング工法										現場技術者											
ロ-ドリ-式																					
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	相 対 密 度 (g/cm ³)	標準貫入試験										標尺 (m)
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数								
											10	20	30	10	20	30	40	50			
0	99.89								0~1.5m L: 埋り軽石主体.	非常K やわらかい。	1.15										
1				2.00					1.5~2.0m φ10~20mmのL: 埋り軽石主体.		45	2	1	1							
2	97.89	2.00		0.70					有模範工 木の根混り.	中位の	2.15	48	33	11	10	12					
3	97.19	2.70		0.75					軽石、スリヤと不規則に混入する。	中位の	3.15	45	8	2	4	2					
4	96.44	3.45							3.45~4.1mは黄白褐色呈し、φ1~5mmの粒状。		4.15	45	5	2	2	1					
5	95.79	4.10		2.95					4.1~6.4mは暗赤褐色を呈し、φ5~20mmの粒状。含水量多しやわらかい。	ゆるい やわらかい。	5.15	45	31	10	14	7					
6											6.15	45	27	8							
7	93.49	6.40		1.60					砂質ロ-ム 全体に砂質のロ-ムあり。火山礫、スリヤと不規則に混入する。	かたい	7.15	45	9	1	5	3					
8	91.89	8.00		0.30					細砂 均質な細砂。	中位の	8.15	45	18	3	7	8					
9	91.59	8.30		1.10					砂質ロ-ム 上流に比べて粘性大。	かたい	9.15	45	33	6	5	22					
10	90.49	9.40									10.15	45	39	9	13	17					
11											11.15	45	50								
12											12.15	45	50	12	27	11					
13											13.15	45	42	27	10	10	7				
14											14.15	45	32	17	15	35					
15											15.15	45	35	20	17	7					
16											16.15	45	50	32	18						
17											17.15	45	32	17	7						
18											18.15	45	20	5							
19											19.15	45	37	13	14	10					
20	80.52	19.37		9.97					火山礫 φmax 200mm程度 変の粗粒かつ多孔質な安山岩質の火山礫と同質の火山砕屑物。		20.15	45	37	22	15	30	5				

No. 3 孔